2022年度活動概要　　英語語彙研究会

英語語彙研究会では2022年度，以下の活動を行いました。

1.例会／研究大会

2021 年度はオンラインにて、例会と研究会を開催しましたが、コロナ禍が明けてきていることもあり、開催での効果の高さを鑑み、2022 年度は、対面にての開催を検討しました。しかしながら、2022 年度の終盤まで感染状況が完全に落ち着く状況に至らず、他の学会内の研究会等でも対面開催がメインとはならない状況であったため、本研究会でも対面での例会等の開催を見送ることとなり、結果的に、本年度は、例会／研究大会自体の開催を見送ることとしました。

2.研究活動

メンバー間で語彙に関する科研研究等に従事し、積極的な発信を行なっております（以下は、2022 年度に従事した科研研究の一例です）。今後、コロナ禍明けでの研究会活動にて、これらの知見を活かす予定でおります。

意味想起形式による英語語彙サイズ・コンピュータ適応型テストの開発
（挑戦的研究(萌芽)　22K18474　研究代表者：濱田彰）
語彙認知速度への影響を考慮した語彙サイズ・認知速度テストの開発
（基盤研究Ｃ　21K00771 研究代表者：磯達夫）
小中連携を図るための中学入門期における診断用英語語彙テストの開発
（基盤研究Ｃ　19K00886　研究代表者：星野由子）
第二言語ライティング力と言語的特徴の関係：指標の種類と妥当性に着目して
（基盤研究Ｃ　19K00781　研究代表者：小島ますみ）
日英コーパス分析と実証実験の実施による英語学習項目優先度設定への試み
（基盤研究Ｃ　22K00702　研究代表者：坂田直樹）

3.ホームページの強化

近年のセキュリティ上の脅威に対応するため、ホームページの脆弱性に対する対応を行いました。